

平成30年7月25日
西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所

標 題	三瓶周辺熱い夏第2弾 (株)ファーム浮き布 J G A P 取得に向けて
-----	--------------------------------------

(ダイジェスト)

(株)ファーム浮き布は、年度内のJGAP取得をめざして今春から準備を進めています。JGAP取得は、顧客インの視点と社員意欲アップを目的にしたものです。8月下旬には、社員全員でプレストを行い、年明けの審査に備えます。

ファーム浮き布株式会社は、大田市三瓶町池田で水稲+作業受託約20haを経営しています。県外生協、保育園等が主な出荷先であることから顧客インの視点を取り入れた栽培方法に取り組んできました。

今年JGAP取得の希望があったことから、普及部では県内で初めて米のJGAPを取得した経営体へ視察、取得までのタイムテーブルを提案し支援してきました。

現在、GAP指導員により2回の指導を受け、帳簿等が整い次回8月23日には、社員全員で点検しプレストする予定です。

農業普及部大田支所は、スムーズな取得のために今後も支援していきます。



4月 先進経営体で情報収集 JGAP取得が目的になってはいけません!!



高祖指導員「帳簿整いました？」

N 担当「美味しまね認証時の書類があるので助かっています。」

高祖指導員「いつ審査受けましょうか？」

N 担当「先日審査認証機関に問い合わせたら3ヶ月前に予約を入れていただきたいと・・・」

高祖指導員「あと2年ですものねえ。オリパラ・

・ 年度内取得を目標に行きましょう」